

4 安心・安全な暮らしづくり

(1) 外国人材の受入・共生

国への提案事項

1 「特定技能」制度の円滑な運用と外国人材の活躍を促進する環境の整備

- 制度の運用について、国の責任において実効性のある対策を実施すること。
 - ・ 県内企業等において人材需要の高い、特に、警備業、倉庫業について、地域の実情を踏まえた柔軟な受入分野の追加及び追加に必要な法整備等の実施
 - ・ 出入国在留管理庁における、情報提供と相談対応の一元化
 - ・ 地域の持続的発展にも配慮した、大都市その他の特定地域への集中の防止策

- 中小企業・小規模事業者においても、外国人材が能力と生産性を発揮できる環境が整備できるよう、必要な支援措置を国において講じるとともに、地方公共団体が行う取組に対しても必要な財政措置(初期費用、運用、維持経費含む)を講じること。

例 ・外国人材の出身国の文化・風習等の理解促進セミナーや、企業現場で有効な平易な日本語による意思疎通手法の習得研修
・企業における多言語対応を可能とするための翻訳ツールや遠隔通訳サービスなど、ハード・ソフト面の支援の仕組みの整備と運営 等

国への提案事項

- 国と地方が連携して課題に対応できるよう、外国人材の受入実態や課題など、国やその関係団体が保有する情報を、地方公共団体と共有すること。
 - ・「労働施策総合推進法」に基づき事業主に義務付けられている、厚生労働大臣への「外国人雇用状況」の届出の情報について、地方公共団体との共有が可能となる措置を図り、地方公共団体が必要とする情報を提供すること
 - 雇用事業所の産業分類(中分類別や在留資格の業種別等)
 - // の事業所規模
 - // の国籍別雇用人数と市区町村別の所在地
 - // の具体的な事業主名
 - ・制度の運用の過程で明らかになった課題の速やかな共有 等

2 多文化共生社会を支える仕組みづくり

- 日本語教育や生活支援など、外国人が安心して暮らすための取組を、地方自治体が計画的かつ総合的に実施できるよう、地域の実情に十分に配慮の上、必要な財政措置(初期費用、運用、維持経費含む)の確保・充実を図ること。
 - ・多言語総合相談ワンストップセンターの拡充(限度額の引上げ等)
 - ・地域日本語教育の総合的体制づくり支援の拡充(補助率の引上げ等)
- 多文化共生社会の実現のため、国の責任において一定のサービスを提供できる仕組みづくりを進めること。
 - ・学校での日本語教育など日本語学習機会の提供
 - ・医療通訳等の活用による医療・保健・福祉サービスの提供
 - ・災害時の多言語情報の提供

【提案先省庁：総務省，法務省，出入国在留管理庁，文化庁】

4 安心・安全な暮らしづくり

(1) 外国人材の受入・共生

現状／広島県の実情

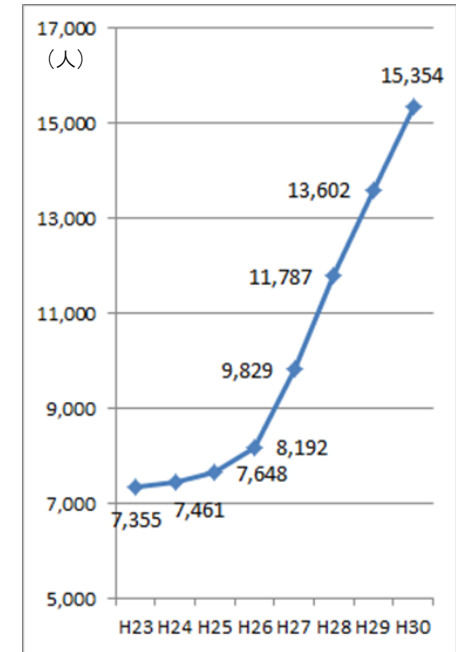
○ 県内では、中小企業を中心に、あらゆる業種で厳しい人手不足に直面しており、技能実習生など外国人労働者は増加の一途をたどっている。

- ・有効求人倍率(H30平均)は、2.05倍(全国3位)
- ・外国人雇用事業所の6割は規模30人未満の事業所であり、100人未満の事業所を含めると8割に達する。
- ・県内の外国人労働者のうち、技能実習生が最も多く、その数はH27以降急激に増加し、5年前の約2倍(15,354人、全国3位(H30))に達している。

広島県内の外国人労働者雇用事業所の状況 単位:事業所数・人・%

事業所規模	事業所数	構成比	外国人労働者数	構成比	一事業所あたりの外国人労働者数
30人未満	2,640	60.2%	10,274	32.3%	3.9
30~99人	907	20.7%	6,648	20.9%	7.3
100~499人	547	12.5%	8,085	25.4%	14.8
500人以上	144	3.3%	6,406	20.1%	44.5
不明	149	3.4%	438	1.4%	2.9
計	4,387	100.0%	31,851	100.0%	7.3

広島県内の技能実習生数



○外国人に対する情報提供, 相談を多言語で行うワンストップ型相談窓口の整備・運営

(交付金の名称)外国人受入環境整備交付金(所管:法務省)

(交付対象)全地方公共団体

(補助率, 限度額)整備…10分の10, 外国人住民数に応じ200~1,000万円

運営…2分の1, 外国人住民数に応じ200~1,000万円(地方負担については, 地方交付税措置あり)

4 安心・安全な暮らしづくり

(1) 外国人材の受入・共生

○地域における日本語教育推進のための体制づくり(人材の確保や日本語教室の運営等)
(補助金の名称)地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業(所管:文化庁)
(交付対象)都道府県, 政令指定都市など
(補助率, 補助額)2分の1, 上限なし(地方負担について, 地方交付税措置なし)

○生活環境に関する外国人調査結果(平成31年2月広島県実施)
日常生活で困っていること
①日本語ができない
②災害時に情報が分からない
③病院に行くときに通訳が見つからない など

課題

- 人手不足分野に対応した受入分野の柔軟な追加
今回の就労可能な14分野には, 人材需要の高い小売業, 運輸業やサービス業の多くは含まれておらず, 引き続き各業界における受入ニーズを把握する必要がある。
- 企業において外国人材が高い生産性を発揮できる環境の整備
受入企業は中小企業・小規模事業者が中心となると想定されるため, 外国人材が貴重な戦力として活躍するには, 企業単独で解決できない課題について行政の支援が期待される可能性が高い。
- 生活者としての外国人が暮らすための環境整備
外国人が安全に安心して地域社会で暮らすための生活支援として, 行政・生活情報や災害時の防災情報の多言語化, 母語で相談を受けられる窓口の整備, 安心して医療・保健・福祉等のサービスを受ける環境整備等を進める必要がある。
また, 外国人に対して, 地域で生活するために必要な日本語学習等の機会提供も必要である。